

経済価値ベースのソルベンシー規制 における検証態勢の構築に向けて

1

検証の枠組みとガバナンスへの影響

EY新日本有限責任監査法人金融事業部マネージャー 齋藤 剛

1. はじめに

2023年6月に金融庁より公表された「経済価値ベースのソルベンシー規制等に関する基準の最終化に向けた検討状況について」(以下、最終化に向けた検討状況)では、25年度から導入予定の経済価値ベースのソルベンシー規制(以下、ESR規制)に関する各論点的方向性や検討の状況などが示されている。ESR規制の本番導入が、いよいよ見えてきた現在において、各保険会社はこれに向けた対応をどうしていく必要がある。本記事では、論点的な観点から「ESRに関する検討の枠組み」に係る論点にフォーカスし、今後どのように取り組むべきかについてAudit Firmならではの目線

で計5回にわたって紹介する。(図表参照)。

2. 「最終化に向けた検討状況」の概要について

22年6月に公表された「経済価値ベースのソルベンシー規制等に関する基本的な内容の暫定決定」(以下、暫定決定)では、主に第1の柱に関する標準モデルの考え方について、ESR規制の暫定的な結論および基本的な方向性が示された。以降、金融庁はフィードバック結果の分析や保険会社およびその他の関係者との対話を通じ、ESR規制に関する各論点的な検討を進めてきた。23年6月の「最終化に向けた検討状況」では、各論点について最終化に向けた方向性、検討経緯および検証状況、残課題が論点ごとに整理された

素の大きさや金額的重要性を考慮した軽重を付けた対応とする観点、特にESR全体の適切性を確保するマクロ的観点および判断・見積の要素が大きい領域について適切性を確保するミクロ的観点からそれぞれの検証機能の整理がなされている。加えて各保険会社の既存の内部統制を活用する観点からの態勢や仕組みの構築を基本的な方向性として検討している。「最終化に向けた検討状況」では、保険会社に具体性をもちた態勢整備を促す趣旨から、それぞれの検証機能の位置付けや役割に関して、次のように整理の上、方向性を示している。

制度の枠組み	タイムライン、報告制度・期限、プロポーショナルティ原則、連結制度等
標準モデル	保険負債の割引率、会社固有のストレス係数・リスク係数、金利リスク、株式リスク、所要資本の税効果等
内部モデル	内部モデルのスコップ、審査基準とプロセス等
ESRに関する検証の枠組み	保険会社内部の検証態勢、外部専門家による検証等
ESRに基づく監督措置	規定資本要件 (Prescribed Capital Requirement : PCR) の監督措置、最低資本要件 (Minimum Capital Requirement : MCR) の設計運用、実質資産負債差額の取扱、破綻処理との関係等
第2の柱	保険会社の内部管理の高度化、第1の柱では捉えきれないリスクの把握・分析、当局が会社に提出を求めるデータ等
第3の柱	市場関係者向け開示 (定量・定性)、消費者向け開示、開示方法・時期等

3. 保険会社の内部の検証態勢

ESRに関する計算全体の適切性の確保において、中心的な役割を担うのは保険会社の内部における検証機能であることが示されており、判断要

【保険会社内部における検証機能の監督上の位置付け】
検証機能に関する監督上の要求事項等を保険会社向けの総合的な監督指針において定めるとともに、報告徴求の枠組みに基づき、検証機能の情報たる「保険負債の検証レポート」や「ESR検証レポート」の提出を求め、その方向性を示している。また、保険会社での態勢整備を

【暫定決定】で示された保険数理機能の役割として想定される「規制上の資本要件の充足状況の評価」について、ESR計算に用いる保険負債の計算の適切性の検証や検証結果をまとめた「保険負債の検証レポート」の作成・提出することを引き続き、基本的な方向性として示している。また、保険会社での態勢整備を

【ESR】検証機能の役割と提出情報
ESR全体の適切性を確保するESR検証機能の役割について、「暫定決定」のとおり、ESR検証機能の態勢の整備および検証内容を報告することが基本的な方向性として示されている。保険数理機能と同様に保険会社に具体的な態勢整備を

【ESR】検証機能の役割と提出情報
ESR全体の適切性を確保するESR検証機能の役割について、「暫定決定」のとおり、ESR検証機能の態勢の整備および検証内容を報告することが基本的な方向性として示されている。また、保険会社での態勢整備を

【新規制導入後における今後の方向性について】
「暫定決定」では、ESRの特性を踏まえた内部ガバナンス態勢の補完②ESRの情報利用者からの信頼性確保③わが国のソルベンシー規制に求められる情報の信頼性の水準④当局による検証や情報利用者による検証の実効性・効率性の四つの観点で外部専門家による検証の意義が認められる。制度化を基本的な方向性とし、関係者間で議論・検討がなされてきた。「最終化に向けた検討状況」では、外部検証の枠組みや実行可能性の検討をより具体化させるために、諸前提を具体化して検討することを示している。以下は、諸前提と今後の方向性について

【ESR】検証機能の役割と提出情報
ESR全体の適切性を確保するESR検証機能の役割について、「暫定決定」のとおり、ESR検証機能の態勢の整備および検証内容を報告することが基本的な方向性として示されている。また、保険会社での態勢整備を

【ESR】検証機能の役割と提出情報
ESR全体の適切性を確保するESR検証機能の役割について、「暫定決定」のとおり、ESR検証機能の態勢の整備および検証内容を報告することが基本的な方向性として示されている。また、保険会社での態勢整備を

【ESR】検証機能の役割と提出情報
ESR全体の適切性を確保するESR検証機能の役割について、「暫定決定」のとおり、ESR検証機能の態勢の整備および検証内容を報告することが基本的な方向性として示されている。また、保険会社での態勢整備を

4. 外部専門家による検証

【暫定決定】では、ESRの特性を踏まえた内部ガバナンス態勢の補完②ESRの情報利用者からの信頼性確保③わが国のソルベンシー規制に求められる情報の信頼性の水準④当局による検証や情報利用者による検証の実効性・効率性の四つの観点で外部専門家による検証の意義が認められる。制度化を基本的な方向性とし、関係者間で議論・検討がなされてきた。「最終化に向けた検討状況」では、外部検証の枠組みや実行可能性の検討をより具体化させるために、諸前提を具体化して検討することを示している。以下は、諸前提と今後の方向性について

【暫定決定】では、ESRの特性を踏まえた内部ガバナンス態勢の補完②ESRの情報利用者からの信頼性確保③わが国のソルベンシー規制に求められる情報の信頼性の水準④当局による検証や情報利用者による検証の実効性・効率性の四つの観点で外部専門家による検証の意義が認められる。制度化を基本的な方向性とし、関係者間で議論・検討がなされてきた。「最終化に向けた検討状況」では、外部検証の枠組みや実行可能性の検討をより具体化させるために、諸前提を具体化して検討することを示している。以下は、諸前提と今後の方向性について

【暫定決定】では、ESRの特性を踏まえた内部ガバナンス態勢の補完②ESRの情報利用者からの信頼性確保③わが国のソルベンシー規制に求められる情報の信頼性の水準④当局による検証や情報利用者による検証の実効性・効率性の四つの観点で外部専門家による検証の意義が認められる。制度化を基本的な方向性とし、関係者間で議論・検討がなされてきた。「最終化に向けた検討状況」では、外部検証の枠組みや実行可能性の検討をより具体化させるために、諸前提を具体化して検討することを示している。以下は、諸前提と今後の方向性について

【暫定決定】では、ESRの特性を踏まえた内部ガバナンス態勢の補完②ESRの情報利用者からの信頼性確保③わが国のソルベンシー規制に求められる情報の信頼性の水準④当局による検証や情報利用者による検証の実効性・効率性の四つの観点で外部専門家による検証の意義が認められる。制度化を基本的な方向性とし、関係者間で議論・検討がなされてきた。「最終化に向けた検討状況」では、外部検証の枠組みや実行可能性の検討をより具体化させるために、諸前提を具体化して検討することを示している。以下は、諸前提と今後の方向性について

5. まとめ

このように「最終化に向けた検討状況」では、「ESRに関する検証の枠組み」について保険会社の態勢整備を促すために体系的に論点整理がなされており、その構築の重要性がうかがえる。保険会社は25年度に予定されているESR規制導入に向けて、内部の検証態勢を整備・運用していくとともに、外部専門家の検証への対応も迫られていくと考えられ、対応すべき課題とロードマップを整理し、ESRガバナンスの態勢整備を進めていくことが重要となる。それぞれの対応について次回以降、触れていく。



齋藤剛(さいとう)

【齋藤剛(さいとう)】氏のプロフィール
EY新日本有限責任監査法人金融事業部マネージャー。監査法人入所後、国内大手保険会社を中心に財務諸

表監査業務に従事。その後、金融庁監督局保険課での勤務を経て、現在は主に保険会社に対する幅広い分野でのアドバイザリー業務に従事。

【ESR】検証機能の役割と提出情報
ESR全体の適切性を確保するESR検証機能の役割について、「暫定決定」のとおり、ESR検証機能の態勢の整備および検証内容を報告することが基本的な方向性として示されている。また、保険会社での態勢整備を

【ESR】検証機能の役割と提出情報
ESR全体の適切性を確保するESR検証機能の役割について、「暫定決定」のとおり、ESR検証機能の態勢の整備および検証内容を報告することが基本的な方向性として示されている。また、保険会社での態勢整備を

【ESR】検証機能の役割と提出情報
ESR全体の適切性を確保するESR検証機能の役割について、「暫定決定」のとおり、ESR検証機能の態勢の整備および検証内容を報告することが基本的な方向性として示されている。また、保険会社での態勢整備を

【ESR】検証機能の役割と提出情報
ESR全体の適切性を確保するESR検証機能の役割について、「暫定決定」のとおり、ESR検証機能の態勢の整備および検証内容を報告することが基本的な方向性として示されている。また、保険会社での態勢整備を

【ESR】検証機能の役割と提出情報
ESR全体の適切性を確保するESR検証機能の役割について、「暫定決定」のとおり、ESR検証機能の態勢の整備および検証内容を報告することが基本的な方向性として示されている。また、保険会社での態勢整備を

【ESR】検証機能の役割と提出情報
ESR全体の適切性を確保するESR検証機能の役割について、「暫定決定」のとおり、ESR検証機能の態勢の整備および検証内容を報告することが基本的な方向性として示されている。また、保険会社での態勢整備を

【ESR】検証機能の役割と提出情報
ESR全体の適切性を確保するESR検証機能の役割について、「暫定決定」のとおり、ESR検証機能の態勢の整備および検証内容を報告することが基本的な方向性として示されている。また、保険会社での態勢整備を